



平和音楽劇「負きてえならん」の本番に向け、演技指導を受けながら稽古に取り組む生徒たち。7日、那覇市首里の石嶺中学校

平和願い せりふに力

読んで
広がる
NIE

那覇市立石嶺
中学校の生徒
19人が出演す

平和音楽劇「負きてえならん」(那覇市主催)が10日午後3時から、那覇市のパレット市民劇場で上演される。7日、同中学校で

石嶺中生徒19人 あす音楽劇上演

行われた稽古では、市芸術監督の安田辰也さんの熱のこもった指導の下、生徒たちはせりふ回しや立ち位置を確認していた。

劇はウチナーグチを交えた3部構成の音楽劇で、第

1章と2章は、戦後を生き抜いた那覇市民の実体験を基に脚本が書かれた。生徒

たちはウチナーグチのせりふに苦戦しつつ、言葉に思いを乗せようと、懸命に練習を重ねている。生演奏をする音楽班のメンバー

も、全員の音を合わせようと必死に練習していた。

出演者の比嘉奈菜子さん(12)は「1年間は泣く場面もある難しい役だけど、全力で頑張りたい」と意気込みを語った。

入場無料。問い合わせは那覇市文化振興課 ☎098(831)8401。